

フロムワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター。

(有)フロムワン

「1から」通信

発行部数

川口市東川口1-16-6-2F

TEL 048-291-2240

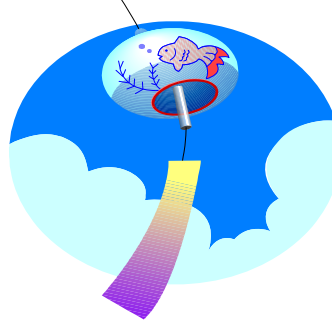
250部

FAX 048-291-2242

平成21年7月号(16号)

発刊者 山本 達也

いやあ、なんとも暑くなってきました。夏に向けてのシェイプアップは(毎年)三日坊主でも、夜の栄養ドリンク(もちろんビール!)補給だけは一日も欠かさない、「逆」ダイエットインスタクターの(有)フロムワン 山本です。このレターを書いている今、梅雨明け宣言がされて連日猛暑が続いています。



皆様、お仕事お疲れ様です。体調など崩されていませんか？

お忙しいこととは思いますが、この夏を元気に快適に乗り切れるよう、体も心もきちんとケアしましょうネ！

私もせめて、昼はダイエットコーラ、夜はカロリーオフの栄養ドリンク!?で乗り切ります。

それでは、夏号(十五号)のお届けです。

(あくガリガリ君ソーダ味が食べたい...)。



インターネットの話<FAX編>

前号/前々号ではFAXの基本的な通信のしくみについてお話いたしました。一枚の原稿を送信するのに、190万個のマス目を白黒に分けて読み取ったり、送信の前にお互いのFAXが「ポーポー」と会話して、読み取った原稿を音に変換して送信したり、はたまた音を受け取ったFAXも忠実に元の原稿の形に変えて印刷して・・・と、いやあ大変なんです。というお話でした。さて!! 今回から<FAX編>本編に突入です。パチパチ。

さて、今回からは「インターネットを使ったFAX活用」についてお話していきますよ。

普通FAXといえば、前号まででお話した電話回線につないで「ピー〜ヒャララ」という音を立てて原稿を送るしくみのことを指しますよね。この電話回線の代わりに「インターネット」を使って「FAX」を送るしくみのことを「インターネットFAX」といいます。(そのまんまやないか……。)

「電話回線の代わりにインターネットを使うと何が変わるの?」と思われる方がいらっしゃるかもしれません。普通のFAXは電話回線を使っているので、接続時間に対して通信料がかかってきます。また、距離が離れるとご利用の電話会社の料金体系にしたがって、料金も高くなります。ところが、電話回線の代わりにお互いがインターネットを使ってFAXのやりとりをするとなんと**通信料が¥0!!**になってしまうんです。

「FAX番号」でのやりとりではなく、「FAX用メールアドレス」での通信になるんですネ。

パソコンでメールのやりとりをする場合、定額制のプロバイダを契約していれば料金はかかりませんよね。まったく同様のしくみでFAX通信費を無料にすることが可能なんです。FAXの送信頻度が高い方や、海外とのやり取りが多い人には、インターネットFAXは重宝する機能だと思います。「それならすぐにでも!」 ス、スママセン。その前に少し説明させてください。☺



ご利用いただくためには、次の3つの条件があります。

- ① インターネットが利用できる環境で、定額制のプロバイダ契約であること。
- ② 「インターネットFAX」の機能を搭載したFAX機(複合機)であること。
- ③ 送信側/受信側、双方のFAX機に「インターネットFAX」の機能があること。

この3つが前提になるんです。

営業所や支店があり、かつFAXのやり取りが多い事業所様には最もメリットがあるしくみですね。

「なあ〜んだ。」なんて思わないでくださいね。☺

この10年でパソコンを使ったインターネットでのやり取りは、当たり前になりました。

きっと遠くない将来、皆さんの名刺にもメールアドレスの他に「FAXアドレス」も印刷されるようになるかもしれません。

いかがでしたか?もっと詳しく知りたい!!という方は、お気軽にお問い合わせくださいネ。

というわけで、今回は「インターネットFAXはどうやって送られているのか?」というお話をいたします。

お楽しみに。

おすすめ本



<運命を変える

本物の言葉>

ゴマブックス

著者 桜井 章一

前号に続いて、「雀鬼」桜井章一氏の本を紹介します。

氏の著書は、「気づき」「円」「自然」「感性」「流れ」という言葉が非常に多く使われています。

一見、超人的な勝負師ならではの抽象的な言葉が並んでいるようですが、深み極まった洞察の中で体得した森羅万象の真理なのではないでしょうか。

裏麻雀という世界を登りつめた筈の桜井氏が嫌悪するのは、「権力者」「勝ち組」「情報」「ノウハウ」という言葉です。日常の些細な生活の中で、「準備」「実行」「後始末」を行い、「間」に「合う」ことが、よりよい生き方＝運に好かれることにつながると説きます。

知識人／文化人ではない桜井氏の裸の言葉は、考えさせられるのではなくまさに感じさせてくれる本物の言葉ではないでしょうか。

現役を退いた後、車の免許も、携帯電話すら持たず、病んだ若者達の為に道場(雀鬼会)を主宰する、桜井氏・・・カッコイイです。

<編集後記>

この夏休みを利用して、娘(6歳)が私の実家の愛媛県に「ひとり」で帰る予定です。

もちろん生まれて初めての一人旅。

「飛行機でトイレは大丈夫かな?」「寂しくならないかな?」私の不安な気持ちなどいざしらず、本人はやる気マンマン／行く気マンマンです。

羽田から約1時間半。この夏のちびっ子大冒険。心配するより、彼女にとって素敵な夏になることを祈りましょう。

じいちゃん、ばあちゃん、2週間、ウチの暴れ娘のこと頼んだぞ!(そっちが心配だったりして・・・)

それでは、また秋号で!!

